

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の概要（世界文化遺産）

世界文化遺産としての推薦

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は、平成26年(2014年)に政府として世界文化遺産に推薦。
平成27年(2015年)5月にイコモスから世界遺産一覧表への記載勧告を受け、同年7月5日に世界遺産委員会において「記載」決定。

資産の概要

- ・本資産は、19世紀後半から20世紀初頭にかけて西洋から非西洋への産業化の移転が成功したことを証言する産業遺産群により構成。
- ・一連の遺産群は、後に日本の基幹産業となる製鉄・製鋼、造船、石炭という重工業分野において、1850年代から1910年にかけてのわずか半世紀で西洋の技術が移転され、日本の伝統文化と融合し、実践と応用を経て産業システムとして構築される産業国家形成への道程を時系列に沿って証言している。

資産の構成

<8県11市23構成資産>

福岡県:北九州市・大牟田市・中間市、佐賀県:佐賀市、長崎県:長崎市、熊本県:荒尾市・宇城市、
鹿児島県:鹿児島市、山口県:萩市、岩手県:釜石市、静岡県:伊豆の国市 (※稼働資産)

萩:萩反射炉



恵美須ヶ鼻造船所跡



大板山げつら製鉄遺跡



萩城下町



松下村塾



釜山:釜山反射炉



釜石:橋野鉄鉱山※



佐賀:三重津海軍所跡



鹿児島:旧集成館



寺山炭窯跡



関吉の疎水溝



三池:三池炭鉱・三池港※



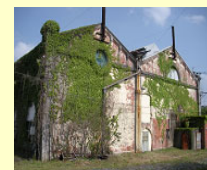
三角西港



八幡:官営八幡製鐵所※



遠賀川水源地ポンプ室※



長崎:小菅修船場跡



三菱長崎造船所
第三船渠※



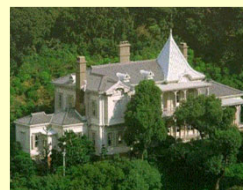
三菱長崎造船所
ジャイアントクレーン※



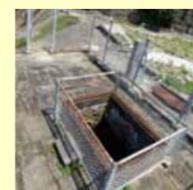
三菱長崎造船所
旧木型場※



三菱長崎造船所
占勝閣※



高島炭鉱



端島炭鉱



旧グラバー住宅

